

PET検査をご依頼の先生へ

(地域医療用)

大阪急性期・総合医療センター 画像診断科

1. 保険適用について(検診の場合は、保険適用の確認は不要です。)

保険診療としてPET検査を受けていただくためには、以下の条件を満たすことが必要です。

悪性腫瘍

※早期胃癌を除く

- ① 他の画像診断により病期診断や転移・再発の診断を確定できない場合
(組織診や細胞診を施行できない場合は、他の検査や画像診断で高い蓋然性をもって悪性腫瘍と確定診断されていれば保険適用となります。)
- ② リンパ節などの生検で悪性腫瘍の転移と診断されたが、原発巣が不明な場合

大型血管炎

- ・ 大型血管炎と確定診断されたが、他の画像診断により炎症部位を確定できず、炎症部位を可視化したい場合

※ てんかん、虚血性心疾患、心サルコイドーシスの診断は、当院ではお受けしていません。

※ 同一月内にガリウムシンチグラフィが行われている場合は、保険適用となりません。

2. 患者さんに関する注意事項

・ 次に挙げる項目のいずれかに該当する場合は、原則、検査をお受けできません。

- ◆ 検査6時間前からの絶食ができない。
- ◆ 検査前の空腹時血糖値を、200mg/dl以下にコントロールできない。
- ◆ 移動がストレッチャー、または、車椅子で、介助が必要である。
- ◆ オムツや採尿バックを使用中で、ご自分で交換や廃液ができない。
- ◆ 注射後1時間程度、待機室で一人で静かに待機できない。
- ◆ 撮影中(約30分間)、静止ができない。
- ◆ 妊娠中、または、妊娠の可能性がある。

- ・ 患者さんに検査の目的、概要、費用(保険で3割負担の方で3万円程度、自費・検診で99,000円)、また、検査前の絶食や運動制限などの必要事項をご説明のうえ、「診療情報提供書(PET検査用)」、および、「PET検査用確認書」を記載してください。
- ・ 検査6時間前から絶食です(水、お茶のみ飲用可)。糖分が含まれる点滴も中止してください。
- ・ 検査当日の血糖値が150 mg/dl以上の場合は病変が描出されないことがありますので、ご了承ください。
- ・ 糖尿病薬の内服やインスリン注射を行っている患者さんの場合、検査6時間前からの絶食に伴い、糖尿病薬の内服やインスリン注射を中止できる場合は確実に中止してください。
なお、検査当日にインスリンを注射した場合は、検査薬が筋肉に集積し、診断が困難となる場合があります。
- ・ 植込み型不整脈デバイス(ペースメーカーやICD)を植え込みされている場合は、別紙「PET検査用確認書」の検査前チェックリストにチェックのうえ、患者さんには検査当日にペースメーカー手帳やICD手帳を持参してもらうようにお伝えください。
- ・ 他の方の放射線被ばく防止のため、PET検査と同日の外来診察や他の検査、透析の実施はお避けください。
- ・ 授乳中の方は、スタッフにご相談ください。
- ・ 予約変更や検査をキャンセルをされる場合は、必ず、検査前日(平日)の15時までに下記の電話番号までご連絡ください。連絡なくキャンセルされた場合は、無駄になった検査薬の費用(約5万円)を患者さんにご負担いただく場合があります。
- ・ 他の画像診断の検査結果の写しや画像データのCDをご提供いただける場合は、検査当日に、患者さんに持参していただいでください。

大阪急性期・総合医療センター

PET検査受付電話番号 06-6692-0111 (平日 9時~17時)



大阪急性期・総合医療センター

(2025年7月版)